



**Daiwa House®**  
Group

報道関係各位

# News Letter

2012年3月26日

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

## リチウムイオン蓄電池 1000 台導入による 最大 2MWh（メガワットアワー）のピークシフトを実施します

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）および大和ハウスグループは、電力供給不足への対応と省エネ・低炭素社会の実現を見据え、2012年4月10日より順次、全国の大和ハウスグループの事務所、工場等（約 200 事業所）にエリーパワー株式会社（本社：東京都品川区、社長：吉田博一）製の可搬型リチウムイオン蓄電池（「パワーイレ：2kWh/台」）を 2MWh 分（1,000 台）導入し、ピークシフト<sup>※1</sup>を実施します。

特に深刻な電力不足が懸念されている関西電力管内の事務所には、1.2 MWh 分（600 台）の可搬型リチウムイオン蓄電池「パワーイレ」を導入します。

大和ハウスグループでは昨年、東北・東京・関西電力管内の夏場の電力不足における節電対策の取り組みとして、事務所・工場で輪番休業を実施し、各施設ではエネルギーモニタリングシステムを導入するとともに、節電効果のある高効率反射板やLED照明を採用し、平日の使用最大電力の 20%削減<sup>※2</sup>を目標に掲げ、節電に取り組みました。その結果、当社グループの対象施設で 24%のピークカット<sup>※3</sup>効果がありました。

今年も昨年に引き続き、日本全国で電力需給が逼迫する恐れがあるため、当社グループでは、電力不足が深刻化する前に「パワーイレ」を導入してピークシフトを実施します。

※1. 電力負荷を電力需給の逼迫する時間帯（昼間）から緩慢な時間帯（夜間）に移行させること。

※2. 関西電力管内は 15%削減を目標に掲げ、節電に取り組みました。

※3. ピーク時の電力使用量を減らす取り組みのこと。

### ポイント

1. リチウムイオン蓄電池の導入により、1日当たり最大 2MWh のピークシフトを実施
2. 深刻な電力不足が懸念されている関西電力管内の事務所に 1.2MWh 分を導入

## 1. リチウムイオン蓄電池の導入により、1日当たり最大2MWhのピークシフトを実施

東日本大震災により、現在、日本全国の原子力発電所が定期点検のため停止し、政府ならびに電力会社は、昨年夏の節電要請に引き続き、今冬も企業や家庭に節電を要請している状況です。

このような中で、大和ハウスグループでは、これからの電力供給不足に対応するため、2012年4月10日より、グループの事務所、工場等（約200事業所）に1,000台（最大2MWh分）の可搬型リチウムイオン蓄電池「パワーイレ」を順次導入し、ピークシフトを実施します。

「パワーイレ」を1,000台導入することにより、約10,000人分のノートパソコンとタスク照明（卓上LED照明）の電力を賄うことができます。

充電は、電力需要が減る午後11時から午前7時までの8時間に深夜電力を蓄電し、電力需要ピーク時の午後1時から午後6時までの5時間に「パワーイレ」に蓄えた電力を、事務所内で使用するパソコン、卓上LED照明の電力に利用します。

なお、導入予定の「パワーイレ」は、商用電源に頼らない独立電源システムや、停電時のバックアップ電源としてBCP※4対策にも利用します。

※4. Business Continuity Plan（事業継続計画）の略称。災害や事故などの予期せぬ出来事の発生により、限られた経営資源で最低限の事業活動を継続、ないし目標復旧時間以内に再開できるようにするために、事前に策定される行動計画。

### ■ 利用方法のイメージ（約10人分/台）



## 2. 深刻な電力不足が懸念されている関西電力管内の事務所に1.2MWh分を導入

関西電力管内は、他の電力会社の管内よりも電力需給が逼迫する恐れがあります。

そこで当社グループでは、関西電力管内の事業所に1.2MWh分（600台）のリチウムイオン蓄電池「パワーイレ」を導入し、ピークシフトを実施します。これにより、約5%※5のピークカットが見込めます。

※5. 大和ハウス工業の事務所の場合、平均で約5%のピークカットが見込めます。

### ■ 導入予定施設・導入予定台数（関西電力管内）

施設分類	施設数	導入予定台数
大和ハウス工業（事務所・工場他）	15	410
大和ハウスグループ会社	24	170
ショッピングセンター・ゴルフ場・ホテル	19	20
関西電力管内合計	58	600

■導入予定施設・導入予定台数（関西電力管内以外）

施設分類	施設数	導入予定台数
大和ハウス工業（事務所・工場他）	80	315
大和ハウスグループ会社	—	14
ショッピングセンター・ゴルフ場・ホテル	65	71
関西電力管内以外合計	145	400

■「パワーイレ」の特長

エリーパワー社が開発した可搬型リチウムイオン蓄電池「パワーイレ」は、平時に利用している商用電力（AC：交流）を蓄えることができるだけでなく、太陽光発電システム（自然エネルギー）で創られた電力（DC：直流）も蓄えることができる非常用電源です。

地震発生の際には、揺れが到達する前に音声と液晶画像で緊急地震速報をお知らせします。また、「パワーイレ」をお客さまに安心して利用いただくため、引渡しから5年間、メーカー責任による故障を無償で修理する保証サービスを付けています。加えて、運転状況を集中管理センターにおいて、24時間遠隔監視しています。

「パワーイレ」に搭載されている電池セル（単電池）は、2011年8月、世界的な第三者認証機関であるテュフ ラインランド ジャパン社<sup>※6</sup>の認証を世界で初めて取得しています。

たとえ釘が刺さっても発煙、発火しない世界最高水準の安全性を確保しています。

※6. ドイツに本社を置く第三者認証機関。ドイツをはじめヨーロッパ諸国各地、海外へ輸出される電気機器等の工業製品の安全試験・認証を行っています。



「パワーイレ」

■「パワーイレ」の仕様

名 称	「パワーイレ」	
製 造 元	エリーパワー株式会社	
本体寸法	幅 320 mm×奥行 550 mm×高さ 702mm	
質 量	約 62kg	
蓄電池容量	最大 2kWh	
出力容量	AC100V×2口（最大 1000W まで）	
入 力	商用電力	AC 単相 100V 15A
	ソーラーパネル	DC57～60V 7～10A
使用環境	室温	0℃～40℃
	湿度	5%～95%RH
	使用場所	屋内



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以 上

お問い合わせ先	
広報企画室	0 6 ( 6 3 4 2 ) 1 3 8 1
東京広報グループ	0 3 ( 5 2 1 4 ) 2 1 1 2

● 「パワーイレ」採用事業所（イメージ）

